科目区分	科目区分 専門教育科目			子ども家庭支	支援論 科目コード		25Y401	担当者	南條 恵				担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	後期	単位数	2	必修・選択 の別	選択	免許・資格要件	保育士必修			
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び 科目との関連							施行規則に 定める 科目区分等	科目に含める ことが必要な 事項			

授業の主題	・子育て家庭に対する保育士の行う相談等の支援の意義や保育士の役割について理解し、子ども家庭支援の基本について説明することができる。 ・子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と、子ども家庭支援の現状、課題について関連付けて説明することができる。		・授業ごとに提出するリアクションペーパーをもとに、授業内でコメント、フィードパックをおこなう。
授業の方法	・スライドや資料を用いながら、子育て家庭に対する保育者の行う相談支援の意義や、保育士の役割、相談 援助の体制のありかたと、保護者が抱える課題について講義する。	アクティブ・ラーニングの 実施方法	・事例をもとにしたグループワーク、ロールプレイなどを取り入れる。

回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	オリエンテーション あなたにとって家族・家庭とは?	授業の内容や配布したブリント、参考書をもと に、自分にとって家族や家庭とはどのようなも のかまとめる。
第2回	支援を必要とする家庭の背景と子育て施策	授業の内容や配布したブリント、参考書をもと に、現代の子育て家庭の特徴についてまとめ る。
第3回	子どもにとって家庭とは?	授業の内容や配布したブリント、参考書をもと に、子どもにとって家庭とはどのようなものか まとめる。
第4回	現代の子どもと家庭を取り巻く状況	授業の内容や配布したブリント、参考書をもと に、現代の子育て家庭の特徴についてまとめ る。
第5回	保育の専門性を活かした子ども家庭支援	授業の内容や配布したブリント、参考書をもと に、保育の専門性についてまとめる。
第6回	保育士に求められる基本的態度	授業の内容や配布したブリント、参考書をもと に、保育士に求められる倫理観についてまとめ る。
第7回	社会資源について	授業の内容や配布したプリント、参考書をもと に、社会資源についてまとめる。
第8回	地域の子育て家庭への支援	授業の内容や配布したブリント、参考書をもと に、現代の子育て家庭の特徴についてまとめ る。

	回数	授業計画	事前	前・事後学修			
	第9回	保育を必要としている家庭への支援	授業の内容や配布したプリント、参考書をも とに、保育を必要とする意味についてまとめ る。				
	第10回	障害のある子どもとその家庭への支援	授業の内容や配布したプリント、参考書をも とに、障害のある子どもとその家庭が必要と している支援についてまとめる。				
: `	第11回	子どもの貧困	授業の内容や配布したブリント、参考書をも とに、子どもの貧困についてまとめる。				
	第12回	要保護児童とその家庭への支援	授業の内容や配布しとに、要保護児童に	したプリント、参考書をも こついてまとめる。			
=	第13回	子ども家庭支援における自治体の取り組み		したプリント、参考書をも を援における自治体の取り かる。			
:	第14回	子ども家庭支援の今後の課題①		ンたプリント、参考書をも 支援の今後の課題について			
:	第15回	子ども家庭支援の今後の課題②		D授業をもとに、自分が考 暖のありかたについてまと			
:			事前・事後 学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回			

(書名/著者 名/出版社)	なし
[書名/著者	子ども家庭支援論 子どもが子どもの生活をするために/阿部和子/萌文書林、子ども家庭支援論 第2版/(公)児 童育成協会監修 松原康夫他編/中央法規、子ども家庭支援/倉石哲也、大竹智/ミネルヴァ書房、貧困と保育/秋 田喜代美、小西佑馬他編/かもがわ出版

受講生への メッセージ 現代の子育で家庭を取り巻く社会的状況の変化と子ども家庭支援施策、保育士等の専門職の果たす 役割や関係機関との連携の必要性を学んでいきましょう。

													評価基準					
		果の士		配点比率(%)	評価方法の配点比率(%)							学修成果の小分類		尺度				
			学修成 果の 中分の 九]		定期試験	臨時出版	出	表内	講態	実習評価学	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)	レベル 1 (F:59%以下)
	150	態度・	① 学習 意欲															
		志向	② 規律性															
		知識	③ 知識	60	50				10	も変	代社会における子ど 家庭支援の意義や制 について理解し説明 ることができる。	専門的知識	筆記試験	子ども家庭支援に関する十分な知識を有している。 得点率90%以上	子ども家庭支援に関する知識をかなり有している。 得点率80~89%	子ども家庭支援に関する知識を有している。 得点率70~79%	子ども家庭支援に関する 知識がやや不足してい る。 得点率60から69%	子ども家庭支援に関する知識が不足している。 得点率59%以下
		技能	④ 技能															
観	創	思考	⑤ 情報 活用 能力															
点		判断	⑥ 課題 解決力															
		表	⑦ 言語 活用 能力	20		1	0		10	れる の 援!	育て家庭の現状、そ を取巻く社会的状況 変化、子ども家庭支 における保育者の役 などを説明できる。	専門的知識、用語の理 解、文章力	リアクションペーパー レポート	子育て家庭の現状、それを取巻く社会的状況の変化などを説明することが十分できる。	子育て家庭の現状、それを取巻く社会的状況の変化などを説明することがかなりできる。	れを取巻く社会的状況	子育て家庭の現状、それを取巻く社会的環境の変化などを説明することがやや不十分である。	れを取巻く社会的環境
		現	⑧ コミュ ニケー ション 力	20				10	10	デッ 分の 人の	についてグループ ィスカッションで自 の考えを話し、他の の意見を聞き考えを めることができる。	コミュニケーションカ	グループディスカッショ ン	子育て家庭の現状など について、グループ ディスカッションなど を通して十分考えを深 めることができる。	子育て家庭の現状など について、グループ ディスカッションなど を通してかなり考えを 深めることができる。	子育て家庭の現状など について、グループ ディスカッションなど を通して考えを深める ことができる。	子育て家庭の現状などに ついて、グループディス カッションを通して考え を深めることがやや不十 分である。	ディスカッションなど
	実	行動・	⑨ 主体性															
		応用	協働性															
	É	合計		100	50	1	0	10	30				1	1	1	ı	1	1